

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和6年2月17日(土)午前10時～11時30分
場 所 駒林西集会所（駒林西自治会）
参加者 33人



主な意見等

参加者 前回のタウンミーティングでも話しましたが、なかなか自治組織の会員数が増えず、集会所を建て替える費用の貯えができない状況です。集会施設の形態は旧上福岡市と旧大井町とで異なりますが、各自自治組織間の兼ね合いについて、どのようにお考えでしょうか。

市 長 旧上福岡市は各自自治組織所有の集会所を、旧大井町は公民館分館をそれぞれ集会施設として利用してきたという違った歴史を持っていますが、現在、それを一つにしていこうということで、集会施設の在り方に関する審議会を開催しているところです。

先行して旧大井町の公民館分館を、各地域の集会施設としての「会館」という形に変えました。次に旧上福岡市の集会所については、構想としてですが、建物の維持管理は利用する自治組織の方々にお願ひし、寄附採納などにより所有権を市に移転した上で建て替えは市が実施するという案が挙がっています。もちろん地域の皆さまのご判断にお任せしますが、旧上福岡市方式と旧大井町方式のいい所を合わせた、ふじみ野市方式を作っていきたいと考えています。

参加者 この集会所前の通りは県道で、車の交通量が多く、子どもが集まる際には危険が伴います。集会所をゲートボール場へ移動

できればと考えていますが、可能でしょうか。

市 長 この場ですぐに可能とはお答えできませんが、子どもたちの安全のために違う場所を探すことは一つの方法だと思います。

参加者 総合防災訓練を実施した際、防災行政無線の放送がよく聞こえませんでした。マンションなどの高い建物が建設されたことが理由かと思いますが、防災行政無線の数を増やしたり、角度を変更したりするなどの見直しの予定はあるのでしょうか。

市 長 防災行政無線の聞こえ方は周囲の建物の状況や風向きによっても変わってしまいます。聞こえないという方がいる一方で、生活サイクルが多様化し、日中は流さないでほしいというご意見もあります。一定の周期で担当職員が調査していますが、今後、ご意見を反映できるように改善を図りたいと思います。

参加者 自治会の会員数が減ってきています。ふじみ野市に転入してくる方々に対して、自治組織へ加入について、市からアナウンスはしているのでしょうか。

市 長 自治組織加入率の低下については、何年も前から課題になっています。行政としても、地域の支え合いというのは非常に大事だということで、転入してくる方々に対し自治組織への加入を促すとともに、市報に啓発の記事を掲載しています。また、自治組織への加入促進につながるような取り組みを実施していただくための補助金制度もつくりました。

参加者 駒林西自治会の活動内容を伝える独自のお便りを作ったのですが、自治会未加入の世帯に配る手段がありません。市報に挟み込んで、このエリアの方々だけに配布してもらえないかと市に相談しましたが、断られてしまいました。

市 長 申し訳ありません。特定のエリアだけに配布するチラシなどを市報に折り込むということは難しいです。

参加者 自治組織の本部役員のなり手が少ない状況です。自治組織連合会でも提案しようと思っておりますが、各自治組織に1人でもいいので市の職員を配置してもらい、つながりを持てるようにしていただきたいです。

市長 以前、市職員の地域担当制というのを考えたことがあります。各地域に職員を配置するとなるとそのための人件費が発生します。その費用は結果として市民の方々の負担になってしまいますし、税金を充てることになると、今まで行っていた他の事業などができなくなってしまいます。行政としては、地域コミュニティをなんとかしていくというのが最大のテーマだと感じていますので、本日いただいたご意見を参考にしながら、会員増強に向けた取り組みを進めていきたいと思っています。

参加者 在宅で電話をする仕事を始めたのですが、選挙の際、選挙カーの音量が大きく困っています。電話の相手に候補者名や選挙名などが聞こえてしまうと、どこに住んでいるのかが知れてしまい、仕事に影響がでてしまいます。

市長 私も選挙に関わる人間ですが、どうしても皆さまに伝えたいの思いから熱くなってしまうのだと思います。お仕事に支障がでってしまうのであれば、申し訳ないと思います。病院や学校の周囲では大きな音は出さないなどの配慮はしていますが、貴重なご意見ですので、他の選挙に関わる人間にも周知していきたいと思っています。

参加者 ふじみ野市将来構想のポイントを簡単に教えてください。

市長 将来構想としては「豊かで住み続けたいまち ふじみ野」というのが一番のテーマです。ふじみ野市もいずれ人口減少を迎えることになると思いますが、将来の人口減少を見据えた中で、このまちに住み続けたいと思ってもらえるようまちを作っていくための構想です。